

平成17年7月21日

厚生労働省医薬食品局血液対策課長 様

日本赤十字社 血液事業本部長

血液製剤に関する報告事項について (回答)

平成17年7月7日付事務連絡によりご依頼のありました標記の件については、下記により回答いたします。

記

1. 平成15年9月5日付けで報告された輸血用血液製剤でHIVの感染が疑われる事例について、残る3人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
⇒ 残る3人のその後の来訪なし。(8名中5名が来所、検査はすべて陰性)
2. 平成16年7月9日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る1人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
⇒ 1人の献血者が再採血に協力頂き、検査は陰性。(19名中19名が来所、検査はすべて陰性)
3. 平成16年3月22日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る7人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
⇒ 残る7人のその後の来訪なし。(37名中30名が来所、検査はすべて陰性)
4. 平成16年11月26日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、残る21人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければ、その旨。
⇒ 残る21人のその後の来訪なし。(48名中27名が来所、検査はすべて陰性)
平成16年3月の輸血時：23名中12名が来所、検査は全て陰性。
平成15年5月の輸血時：25名中15名が来所、検査は全て陰性。
5. 平成16年12月9日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV (B型肝炎ウイルス) 感染が疑われる事例について、新たに判明した事項。

⇒ 新たな情報はなく追跡調査は終了。

6. 平成16年12月3日付けで報告された輸血用血液製剤でHEV（E型肝炎ウイルス）感染が疑われた事例について、供血者の喫食歴の調査結果。

⇒ 供血者の喫食歴については、継続的に調査中。

7. 平成17年1月12日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る8人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければその旨。

⇒ 残る8人のその後の来訪なし。（16名中8名が来所、検査はすべて陰性）

8. 平成17年2月4日付けで報告された輸血用血液製剤でHBV（B型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、残る4人の供血者のその後の検査結果。来訪がなければその旨。

⇒ 残る4人のその後の来訪なし。（9名中5名が来所、HBV-DNAは全て陰性。1名はHBc抗体がEIA法のみ陽性HI法陰性、その他の者はすべて陰性）

9. 平成17年5月17日付けで報告された輸血用血液製剤でHCV（C型肝炎ウイルス）感染が疑われる事例について、新たに判明した事項。

(1) 患者検体の調査（輸血後）

採血日	HCV-RNA	HCV抗体	ウイルス濃度
平成16年8月4日	陽性	陽性	1.1×10^8 copies/mL
平成16年9月1日	陽性	陽性	7.4×10^3 copies/mL
平成17年5月17日	陰性	陽性	—

(2) 当該献血（個別HCV-RNA陽性）のウイルス濃度、Genotypeを精査したところ、ウイルス濃度は 8.2×10^2 copies/mL、Genotype 1b（Ⅱ）であった。

(3) ウイルスの相同性試験

Core領域前半部の塩基配列を決定・比較したところ、患者検体と献血者検体の塩基配列は全て一致した。

10. 平成17年2月21日開催薬事・食品衛生審議会血液事業部会提出資料「問診による捕捉調査の実施状況について」について、その後の調査実施状況。

⇒ 別紙1のとおり